



しゅら



「かけ声」も 空回り

2月9日、十三湖中の島駐車場を会場に行われた「白鳥まつり」での、雪上網引き大会のひとコマ。

腕には力が入るものの、足場が滑り、参加者は悪戦苦闘。

「ヨイショ・ヨイショ」のかけ声も空回り・・・。



市町村合併に関する

アンケート調査集計結果

をお知らせします

昨年12月に村民を対象に実施した「市町村合併に関するアンケート調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。調査用紙の配布、回収にご足労いただき

ました、各地区の行政連絡員のみなさん、アンケートに回答くださいました、村民のみなさんご協力ありがとうございました。

問8. あなたは市町村合併にどの程度関心を持っていますか。

回 答	回答者数	割合
①非常に関心がある	103	18.5%
②関心がある	185	33.3%
③あまり関心がない	140	25.2%
④まったく関心がない	15	2.7%
⑤どちらともいえない	57	10.3%
⑥わからない	38	6.8%
無回答	18	3.2%
計	556	100.0%

問9. 問8で「非常に関心がある」、「関心がある」と答えられた方にお尋ねします。特に関心の高い事項は何ですか。(複数回答)

回 答	総回答数	割合
①市町村合併の対象市町村がどこか	199	21.6%
②合併に伴う議会の構成など	74	8.0%
③合併を問う他の市町村の動向	90	9.7%
④合併の目的	108	11.7%
⑤合併に伴う行政サービスの变化	158	17.1%
⑥合併後の税金など	113	12.2%
⑦合併に伴う行政名称など	46	5.0%
⑧合併後の役所位置など	123	13.3%
⑨その他(具体的に)	8	0.9%
無回答	5	0.5%
計	924	100.0%

問10. 問8で「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えられた方にお尋ねします。その理由として上げられる事項は何ですか。(複数回答)

回 答	総回答数	割合
①現在の生活を重視している	49	17.6%
②変化を望んでいない	35	12.6%
③期待をしていない	53	19.1%
④行政が行うこと	19	6.8%
⑤生活に直接関係ないと思う	32	11.5%
⑥内容がわからない	40	14.4%
⑦合併のイメージがわからない	47	16.9%
⑧その他(具体的に)	2	0.7%
無回答	1	0.4%
計	278	100.0%

問4. あなたの就業地・通学地について該当するもの

就業地・通学地	回答者数	割合
①村内	239	74.8%
②五所川原市	3	0.9%
③北津軽郡内	50	15.6%
④西津軽郡内	3	0.9%
⑤野森市	2	0.6%
⑥その他	13	4.1%
無回答	10	3.1%
計	320	100.0%

問5. あなたは生れてからずっと市浦村に住んでいますか。

回 答	回答者数	割合
①生まれてからずっと住んでいる	247	44.4%
②村外で住居経験がある	161	29.0%
③県内の他の市町村から転入してきた	96	17.3%
④県外から転入してきた	23	4.1%
無回答	29	5.2%
計	556	100.0%

問6. あなたがお住まいの居住地区について該当するもの。

地 区 名	回答者数	割合
①相内地区	175	31.5%
②太田地区	47	8.4%
③桂川地区	9	1.6%
④磯松地区	62	11.1%
⑤鰺元地区	116	20.9%
⑥十三地区	131	23.6%
無回答	16	2.9%
計	556	100.0%

問7. あなたは「市町村合併」という言葉を知っていますか、それはどこで知りましたか。(複数回答)

回 答	総回答数	割合
①新聞記事で知った	254	33.2%
②広報紙で知った	66	8.6%
③テレビで知った	133	17.4%
④他人から知らされた	140	18.3%
⑤本などで知った	10	1.3%
⑥基本的知識として知っている	102	13.3%
⑦知らなかった	35	4.6%
⑧その他(具体的に)	6	0.8%
無回答	19	2.5%
計	765	100.0%

回収率は51.1%

アンケートは村内世帯(1,088世帯)に配布し、556世帯から回答があり、回収率は51.1%となりました。

問1. あなたの性別に該当するもの。

性 別	回答者数	割合
①男	304	54.7%
②女	225	40.5%
無回答	27	4.8%
計	556	100.0%

問2. あなたの年齢に該当するもの。

年 齢	回答者数	割合
①10代	0	0.0%
②20代	16	2.9%
③30代	48	8.6%
④40代	99	17.8%
⑤50代	114	20.5%
⑥60代	132	23.7%
⑦70歳以上	135	24.3%
無回答	12	2.2%
計	556	100.0%

問3. あなたの職業に該当するもの。

職 種	回答者数	割合	
自 営	①農林水産業	85	15.3%
	②製造業、建設業	15	2.7%
	③卸小売、飲食業	24	4.3%
	④その他のサービス	22	4.0%
勤 め	⑤農林水産業	12	2.2%
	⑥製造業、建設業	61	11.0%
	⑦卸小売、飲食業	3	0.5%
そ の 他	⑧その他のサービス業(公務員を含む)	64	11.5%
	⑨パートタイム、アルバイト	18	3.2%
	⑩専業主婦	64	11.5%
	⑪無職	156	28.1%
	⑫学生	0	0.0%
⑬その他	8	1.4%	
無回答	24	4.3%	
計	556	100.0%	

問11. 市町村合併に伴う効果、住民の生活面での変化をどのようにイメージしていますか。

	良くなると思う		変わらない		悪くなると思う		わからない		無回答		総回答数
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	
①自然環境の豊かさ	30	5.4%	287	51.6%	72	13.0%	58	10.4%	109	19.6%	556
②災害からの安全性	63	11.3%	248	44.6%	53	9.6%	73	13.1%	119	21.4%	556
③道路・交通の利便性	114	20.5%	243	43.7%	41	7.4%	50	9.0%	108	19.4%	556
④上、下水道の整備	146	26.2%	200	36.0%	27	4.9%	66	11.9%	117	21.0%	556
⑤子どもの教育環境	120	21.6%	187	33.6%	56	10.1%	76	13.7%	117	21.0%	556
⑥福祉サービス	120	21.6%	162	29.2%	84	15.1%	73	13.1%	117	21.0%	556
⑦保健・医療サービス	110	19.8%	189	34.0%	69	12.4%	76	13.7%	112	20.1%	556
⑧日常の買い物の利便性	50	9.0%	312	56.1%	25	4.5%	47	8.5%	122	21.9%	556
⑨ごみの収集・処理	69	12.4%	214	38.5%	96	17.3%	65	11.7%	112	20.1%	556
⑩スポーツ施設・活動	110	19.8%	201	36.2%	34	6.1%	82	14.7%	129	23.2%	556
⑪産業活動	93	16.7%	197	35.4%	39	7.1%	98	17.6%	129	23.2%	556
⑫雇用の場の確保	78	14.0%	185	33.3%	85	15.3%	86	15.5%	122	21.9%	556
⑬コミュニティー活動	92	16.5%	185	33.3%	67	12.1%	83	14.9%	129	23.2%	556
⑭総合的な地域づくり	115	20.7%	150	27.0%	74	13.3%	92	16.5%	125	22.5%	556
⑮行政の効率化	130	23.4%	118	21.2%	84	15.1%	96	17.3%	128	23.0%	556
⑯行政職員の能力向上	148	26.6%	152	27.3%	50	9.0%	90	16.2%	116	20.9%	556
⑰情報化の促進と普及	152	27.3%	149	26.9%	43	7.7%	90	16.2%	122	21.9%	556
⑱自治体の知名度	91	16.4%	174	31.3%	58	10.4%	110	19.8%	123	22.1%	556
計	1,831	18.3%	3,553	35.5%	1,057	10.6%	1,411	14.1%	2,156	21.5%	10,008

問15. 合併を考えたとした場合、その範囲、構成、規模はどのようなものが望ましいとお考えですか。

回答	回答者数	割合
①2～4の市町村を単位とし、生活圏のつながりの深い近隣同士	214	38.5%
②将来、市制移行を目指す人口規模	41	7.4%
③将来、地方の中核的な都市を目指す規模	43	7.7%
④現在ある広域圏を楕円の単位とする	46	8.3%
⑤合併に規模、エリア論を持ちこむことに無理がある	42	7.5%
⑥その他（具体的に）	10	1.8%
無回答	160	28.8%
計	556	100.0%

問16. 具体的に市町村を構成する場合としては、どれが適当だと思えますか。

パターン	回答者数	割合
①青森県市町村合併研究会で公表したパターン 11市町村 五所川原市、鶴田町、木造町、森田村、稲垣村、柏村、車力村、金木町、中里町、市浦村、小泊村	60	10.8%
②つがる西北五広域連合の構成市町村14市町村 ①の上記のパターン+鯉ヶ沢町、深浦町、岩崎村	20	3.6%
③津軽北部広域事務組合の構成市町村の範囲4町村 金木町、中里町、市浦村、小泊村	320	57.6%
④その他近隣市町村	55	9.9%
無回答	101	18.1%
計	556	100.0%

問17. 市町村合併及びその検討を行う際、村に求めることは何ですか。（複数回答）

回答	総回答数	割合
①合併に関する助言や情報提供	207	18.4%
②住民の意向の十分な把握	272	24.1%
③近隣市町村との緊密な意志疎通	192	17.0%
④国、県に対する積極的な働きかけ	102	9.1%
⑤市町村間による合併協議会等の設置	156	13.9%
⑥合併推進に取り組む民間団体等に対する支援	52	4.6%
⑦特になし	45	4.0%
⑧その他（具体的に）	9	0.8%
無回答	91	8.1%
計	1,126	100.0%

※その他

合併に関するアンケートでは様々な意見や要望もたくさん寄せられました。ご協力ありがとうございます。

問12. あなたは、市町村合併の必要性についてどのように考えますか。（複数回答）

回答	総回答数	割合
①合併を推進すべきと考える	91	10.0%
②少なくとも合併を検討する必要がある	179	19.8%
③合併を検討する必要はない	56	6.2%
④住民の意向を優先すべきである	194	21.5%
⑤行政からの説明を聞いた上で判断する	170	18.8%
⑥多数意見に従う	63	7.0%
⑦合併する必要はない	27	3.0%
⑧現在の時点では判断がつかない	61	6.7%
⑨わからない	19	2.1%
⑩その他（具体的に）	6	0.7%
無回答	38	4.2%
計	904	100.0%

問13. 問12で「合併を推進すべきと考える」、「少なくとも合併を検討する必要がある」と答えられた方にお尋ねします。市町村合併を推進する必要性について。（複数回答）

回答	総回答数	割合
①道路や下水道整備など都市基盤の向上	42	10.0%
②地域の産業や経済活動の活性化	97	22.9%
③保健・医療・福祉サービスの向上	101	23.9%
④ごみ処理など生活環境の向上	25	5.9%
⑤行政組織・機構の簡素化	60	14.2%
⑥申請書の交付・許可等行政手続の向上	9	2.1%
⑦ゆとりある財政の構築	72	17.0%
⑧わからない	6	1.4%
⑨その他（具体的に）	6	1.4%
無回答	5	1.2%
計	423	100.0%

問14. 問12で「合併を検討する必要はない」、「合併する必要はない」と答えられた方にお訪ねします。合併する必要はない、あるいは心配することは何ですか。（複数回答）

回答	総回答数	割合
①地域の個性や特色などまちづくりの特徴が失われる	21	14.8%
②地域による格差の発生、または格差拡大が生じる	21	14.8%
③住民の意見が反映されにくくなる	24	16.9%
④役場などの公共施設が遠くなり不便になる	41	28.9%
⑤行政のサービスの低下が予想される	15	10.6%
⑥地域の連帯感が薄れ、コミュニティーの崩壊が心配である	7	4.9%
⑦旧村民の選挙等の住民対立が心配である	9	6.3%
⑧わからない	3	2.1%
⑨その他（具体的に）	0	0.0%
無回答	1	0.7%
計	142	100.0%

交通死亡事故ゼロ、 一〇〇〇日を達成

市浦村が一月二十九日付けて、交通死亡事故ゼロ一千日を達成し、同三十一日青森県警察本部長より表彰されました。

村では、平成十一年五月五日に十三地区で死亡事故が起きて以来、死亡事故ゼロの記録を継続しています。

県警察本部長室で行われた感謝状贈呈式では、市浦村交通安全対策協議会、高松隆三会長に

除雪はおまかせ

金木高・市浦分校

金木高・市浦分校の生徒たちが、今年も高齢者世帯の除雪ボランティアで活動しています。

一月三十日、この日は前日から雪が降り続き、大雪となりましたが、手際よく除雪をしながら、高齢者宅を巡回していました。この日生徒たちに除雪をしてもうった佐藤ノリさん(脇元)は、「高齢者の雪投げは一苦勞、本当に助かります」と喜んでいました。



田端智明県警本部長から「今後も記録を継続してください」と感謝状が授与されました。

この日は、交通安全活動を積極的に推進し交通死亡事故ゼロ一千日に貢献した、村交通安全母の会(小山あぐり会長)にも県交通安全母の会連合会長、県警本部長の連名による表彰状が授与されました。

警察協力功労者を表彰

市浦村から一団体・二人の個人へ

金木警察署(斎藤靖英署長)は一月二十二日、平成十三年度の警察協力功労者を表彰しました。

この表彰は、警察活動に貢献した団体や個人を表彰するもので市浦村からは、市浦村老人クラブ連合会(坂井精会長)ほか二人の個人が表彰を受けました。団体・個人の受賞は次のとおりです。(市浦村関係分)

▼団体 市浦村老人クラブ連合会

▼個人 下澤 國一
小山内 千津子



▶交通死亡事故ゼロ
一〇〇〇日達成!



▶警察協力功労表彰を受けたみなさん(左から坂井精さん、下澤國一さん、高松村長、小山内千津子さん)

消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

高齢者の防火対策

住宅火災では、六十五歳以上の高齢者の亡くなる比率が全体の五〇%と大変高くなっています。

今後、高齢化社会が急ピッチに進むことを真剣に考え、みんなが高齢者を火災から守っていきましょう。

住宅火災の主な出火原因は、暖房器具、調理器具等が多く、高齢者を取りまく環境は危険性を高めています。

また、初めに燃えだすのは布団や衣類などの身近なものです。もし、火がついても燃え広がらない加工のされた防火製品のご利用をおすすめします。

市浦村においては平成十三年四月二十五日に磯松地区で発生した建物火災以来、建物無火災記録が二八〇日(平成十四年一月三十日現在)となりました。火の取り扱いには十分注意し、この記録をのばしましょう。

もっとも危険にされされている高齢者の防火対策は容易ではありませんが、高齢化社会の進展は急であり、防火対策も急がなくてはなりません。具体的な防火対策としては、左記等があります。

- ①安全な暖房・調理器具
- ②布団、衣類等の防火製品化
- ③警報装置
- ④自動消火装置等の整備

*一人ひとりの居住実態にに応じて、必要なことを、できることから実施することが大切です。





心を育てる教育

少年少女和太鼓教室を開催

教育委員会では、一月二十二日から二十四日までの三日間、コミュニティセンターホールにおいて、少年少女和太鼓教室を開催しました。

この教室には、市浦小児童十五人が参加。和太鼓を初めてたくさん参加者がほとんどで、基本

から指導を行い、講師を務めた和太鼓サークル「東日流衆」(伊南徹組頭)の皆さんの熱心な指導もあり、三日間で、十五人みんなそろって、音を奏でられるようになりました。

新年度からは、新学習指導要領の実施に伴い、学校教育でも和太鼓をはじめとした日本の伝統音楽が取り入れられるようになります。学校も週五日制にな



▲日本を打つ!?太鼓に親しむ子どもたち

手づくり門松で新年を

親と子の門松づくり教室に37組

十二月二十三日、コミュニティセンターにおいて、「親と子



▲親子、友達同士でにぎやかに門松をつくる

の門松づくり教室」が開かれました。

毎年、正月を飾る風物詩となっているこの教室も、今回は、市浦小第二学年の親子レク二十一组の参加もあり、市浦村門松の会(吉田稔会長)の皆さんの指導のもと、三十七組の親子が、自然の材料を使って、和気あいあいと門松をつくりあげました。門松の会では、これまで村の公共施設などの分も製作しており、地域づくりに一役かっています。

太田公民館をご利用ください

旧太田小学校を一部改修

太田地区では、これまで、集会所などの場として、太田老人集会所が活用されてきましたが、建物の老朽化などにより、改築、新築の声が上がっていました。今回、昨年の小学校統合により、空き校舎となった旧太田小学校を一部改修して、太田公民館になったものです。各種行事や会合などの場としてこれまでに利用しやすくなりましたのでお気軽にご利用ください。



▲公民館で振興祭を開催

家族みんなでいがががであが

3月10日(日) わらび座「丸山有子」一人芝居

津軽言葉による、大正ロマンひとり芝居—とさのすなやま

十三の砂山

脚本・演出・大團弘毅 出演 丸山有子

Profile
丸山 有子 (東京出身 49歳)
本名 丸山 有子
経歴 1978年(昭和53年) 市浦小児童会
1981年(昭和56年) 市浦小児童会
1982年(昭和57年) 市浦小児童会
1983年(昭和58年) 市浦小児童会
1984年(昭和59年) 市浦小児童会
1985年(昭和60年) 市浦小児童会
1986年(昭和61年) 市浦小児童会
1987年(昭和62年) 市浦小児童会
1988年(昭和63年) 市浦小児童会
1989年(昭和64年) 市浦小児童会
1990年(昭和65年) 市浦小児童会
1991年(昭和66年) 市浦小児童会
1992年(昭和67年) 市浦小児童会
1993年(昭和68年) 市浦小児童会
1994年(昭和69年) 市浦小児童会
1995年(昭和70年) 市浦小児童会
1996年(昭和71年) 市浦小児童会
1997年(昭和72年) 市浦小児童会
1998年(昭和73年) 市浦小児童会
1999年(昭和74年) 市浦小児童会
2000年(昭和75年) 市浦小児童会
2001年(昭和76年) 市浦小児童会
2002年(昭和77年) 市浦小児童会
2003年(昭和78年) 市浦小児童会
2004年(昭和79年) 市浦小児童会
2005年(昭和80年) 市浦小児童会
2006年(昭和81年) 市浦小児童会
2007年(昭和82年) 市浦小児童会
2008年(昭和83年) 市浦小児童会
2009年(昭和84年) 市浦小児童会
2010年(昭和85年) 市浦小児童会
2011年(昭和86年) 市浦小児童会
2012年(昭和87年) 市浦小児童会
2013年(昭和88年) 市浦小児童会
2014年(昭和89年) 市浦小児童会
2015年(昭和90年) 市浦小児童会
2016年(昭和91年) 市浦小児童会
2017年(昭和92年) 市浦小児童会
2018年(昭和93年) 市浦小児童会
2019年(昭和94年) 市浦小児童会
2020年(昭和95年) 市浦小児童会
2021年(昭和96年) 市浦小児童会
2022年(昭和97年) 市浦小児童会
2023年(昭和98年) 市浦小児童会
2024年(昭和99年) 市浦小児童会
2025年(令和7年) 市浦小児童会

2002年3月10日(日) PM2:00(開演) PM7:30(開演)

【市浦村コミュニティセンター・ホール】

◆主催：市浦小児童会
◆後援：市浦村 市浦村教育委員会

前売券
大人 2,000円 (税込2,000円)
小児 500円 (税込500円)

お問い合わせ先
市浦小児童会 市浦小児童会事務局
〒994-8501 市浦村 市浦小児童会事務局
TEL: 0187-44-3351
FAX: 0187-44-3316

わらび座

市浦村の埋蔵文化財⑥

を器土文 擦 伴った井戸跡

実取(2)遺跡

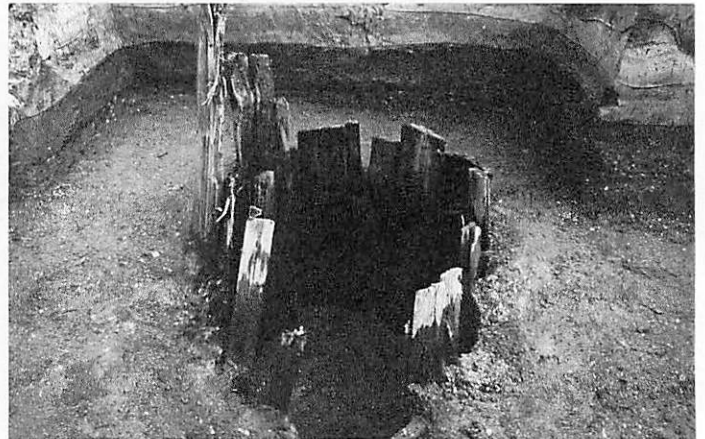
はじめに

去る平成十三年六月二十六日に市浦村相内浄化センター建設中に平安時代の井戸跡が一基発見されました。場所は相内川の河口に近い沖積地で、周り一帯には水田が広がっています。まさかこんな田んぼの真中から遺跡が見つかるとは想像もしませんでした。

そこで、今回は新たに実取(2)遺跡と名付けられた遺跡調査の概要を報告したいと思います。

実取(2)遺跡とは?

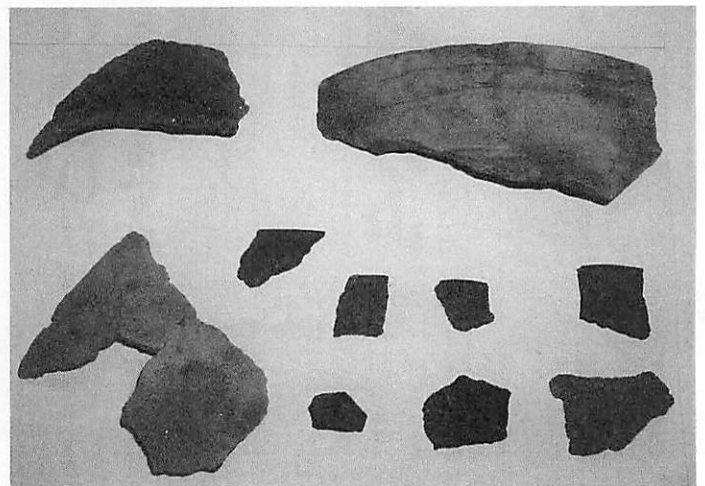
十三湖北岸、現在の相内集落



▲出土した井戸跡



▲発掘調査を行う関係者



▲出土した擦文土器

に暮らす人々は四ツ瀧山や木無岳といった中山山地から派生した小高い台地上に生活しています。

しかし、今回発見された実取(2)遺跡は相内川の流れが十三湖に流れ出る河口に近い沖積地から発見されました。現在も一帯は水田であるように、場所は低湿地に当たります。河川の氾濫が起り得る場所に遺跡(古代の生活跡)が見つかるとは予想もしませんでした。

今回、相内浄化センター建設中に偶然にも木枠を伴った井戸跡が一基発見されました。井戸

枠の中から、北海道を主要な分布圏とする擦文土器がたくさん出土しました。

年代的には十世紀後半～十一世紀代に当たり、平安時代後期に位置づけられます。古代の津軽人は北海道の人々と活発な交流を行っていたことを示しています。

また、井戸枠の中からトチの実やモミなど植物遺存体が多く出土しました。津軽平野を開拓し、稲作に従事する人々の姿や食生活が明らかとなる資料が発見されました。

これまで、県内で平安時代の

最後に

木枠を伴った井戸跡の発見例は少なく、貴重なものとなっております。 (ちなみに平安時代の井戸跡はほとんど素掘り井戸です。) ところで現在、出土した井戸枠の保存処理や年輪年代、樹種・種子同定作業を進め、遺跡の実態をさらに進める作業をしています。

現在、相内実取地区では、ほ場整備事業が竣工し、農業を支える重要な生産基盤として整備されました。かつては腰まで浸かるような湿田を農家の皆さん

の努力によって、りっぱな美田となったのです。

これまで、一般には江戸時代以降の新田開発によって、津軽平野一帯に稲作水田が始まったと考えられてきました。しかし、近年の考古学の成果によって、津軽平野の低湿地で平安時代の集落が多く見つかっています。

こうした津軽平野を開拓し、新田を開発する努力は平安時代の人々の手によって、すでに始まっていたということが分かってきました。

(文責 市浦村教育委員会)

学芸員 榊原 滋高



元気かい通信 ▶11◀

しーらんど海遊館 イベントキャンペーンスケジュール

4月	5月	6月
<ul style="list-style-type: none"> ●「新一年生キャンペーン」 期間：4月1日～6日 今年小学校に入る子供は50%OFFで利用可能 ●「みどりウィーク」 期間：4月23日～27日 お客様の服装にグリーンが入っていたら20%割引券プレゼント 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ゴールデンウィークサービス」 期間：5月3日～6日 ビジターもAG無料体験 ●「春のイベント」 暖かくなるので屋外を利用したイベントを予定 	<ul style="list-style-type: none"> ●「麦茶の日サービス」 期間：6月1日 ・プール水のみ場で麦茶サービス
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ●「七夕観賞会」 期間：7月7日(雨天中止) ・施設敷地内での七夕観賞 ●「海の日ビーチクリーンアップ」 期間：7月20日(雨天延期) ・午後から脇元・磯松地区を中心としたビーチクリーニングを行う ※参加特典あり ●「第5回健康測定」 期間：7月上旬 	<ul style="list-style-type: none"> ●「サマーホリデーキャンペーン」 期間：8月12日～15日 ・ビジターへの運動プログラム無料サービス及び先着100名様には20%割引券をプレゼント ●「ビーチクリーンデー」 (雨天延期) 期間：8月25日 ・午前中に海岸清掃 ・夜「ちびっこ日焼けコンテスト」 	<ul style="list-style-type: none"> ●「敬老の日特別サービス」 期間：9月15日 ・65歳以上の高齢者は無料体験 ●「救急の日 蘇生法講習会」 期間：9月9日・9月15日 ・会員対象の心肺蘇生法講習会を行います。
10月	11月	その他の定期サービス
<ul style="list-style-type: none"> ●「海遊館体育祭」 期間：10月14日 ・元気海プールを利用した競技会など ●「ハロウィーン」 期間：10月31日 ・子供たちによる仮装パーティー 	<ul style="list-style-type: none"> ●「2thアニバーサリー」 期間：11月2日～3日 ・村を上げての合同イベント ●「ボジョレー解禁パーティー」 期間：11月下旬 ・皆様とボジョレー解禁を祝いましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ●「海遊館の日」 ①毎月7日は先着20名(ビジター)までご利用半額 ②運動プログラムを開放 ③オプシジョン30%OFF ●毎月6日アルゴの日 (50%OFF) ●毎月16日バンジェの日 (50%OFF) ●「春期夏期限定トリートメント」 期間：3・4・5・7・8・9月

今回の元気かい通信は、しーらんど海遊館の今後のイベントやキャンペーンのスケジュールを紹介します。今年もイベントやキャンペーン

ンが盛りだくさんの海遊館から目がはなせません。キャンペーン、イベントを活用して、ぜひ海遊館を楽しんでください。

3月のキャンペーン

《ホワイトデーキャンペーン》
★3月12日～3月14日
期間中カップル・夫婦で来館

◎イベントキャンペーンスケジュールは年間行事予定として会員のみなさんに配りたいと思います。

お詫びと訂正

準ミス海遊館



工藤美賀子さん

ミス海遊館



野呂陽子さん

昨年十二月月号広報しーら「元気かい通信その10」ミス海遊館コンテストの写真の氏名が誤っていました。正しい氏名は左のとおりです。関係者のみなさんにご迷惑をおかけしましたこととお詫びして訂正します。

された女性は八〇〇円にてご利用いただけます。さらに、十四日は来館された全ての女性にキャンデーをプレゼント。バレンタインのお返しに海遊館に誘ってみてはいかがでしょうか。

★3月6日 アルゴバックの日
★3月16日 バンジェの日
これ以外にも急遽行うサービスもございます。海遊館ではこのように毎月色々なサービスを行っていますので是非楽しんでください。

※なお、状況により予定が変更となる場合がございます。

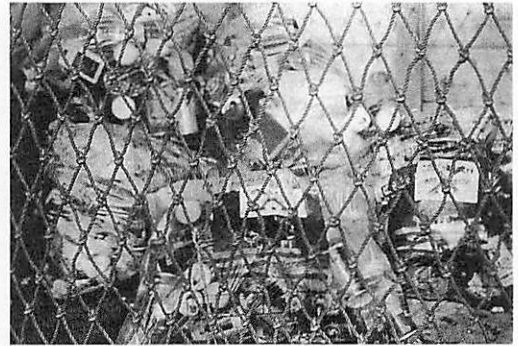
ごみ分別及び資源ごみリサイクル推進について(お願い)

資源ごみ分別リサイクルについては、一昨年4月1日から始まり2年が経過しようとしています。村民各位のご協力により大きな混乱もなくスムーズに実施されているところです。しかし、一部ではありますが、いまだに各地区集

積場所に残されているものもあります。つきましては、下記により事例を紹介しますのでお気付きの方は、集積場所に置いたままにならないようにご注意ください。

間違ったごみの出し方の事例

1. 指定袋及び新聞、雑誌、段ボール・粗大ごみに地区名、氏名が記入されていない。
2. 空き缶・びん・ペットボトルが同じ袋に入られている。
3. 空き缶の水洗い、水切りが不十分。
4. びん、ペットボトルにフタを付けたまま出している。
5. 雨天時でも新聞、雑誌、ダンボールを出している。
6. 燃やせないごみに空き缶、びん、ペットボトルの混入が目立ってきている。
7. 粗大ごみを指定曜日以前から出している。
8. 家電リサイクル法の対象品目(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)を粗大ゴミとして出している。



* お問い合わせ * 役場住民福祉課 ☎62-2111 内線31・33番

老人外来医療の定率上限等の引き上げについてのお知らせ

平成14年4月1日から老人外来医療の定率上限が下記のとおり改定されますのでお知らせします。

現 行	改定後 (平成14年4月1日から適用予定)
◆定率一割負担としている診療所又は許可病床数200床未満の病院	
①院外処方が行われた患者の場合	
●月額上限	
医療機関 1,500円	→ 1,600円
調剤薬局 1,500円	→ 1,600円
②院内処方又は処方なしの患者の場合	
●月額上限	
医療機関 3,000円	→ 3,200円
◆許可病床数200床以上の病院	
①院外処方が行われた患者の場合	
●月額上限	
医療機関 2,500円	→ 2,650円
調剤薬局 2,500円	→ 2,650円
②院内処方又は処方なしの患者の場合	
●月額上限	
医療機関 5,000円	→ 5,300円
◆定額制を選択している診療所	
1日につき 800円	→ 850円
<small>※同一の月において、同一の診療所に対する一部負担金の支払は4回を限度</small>	
◆定率一割負担としている訪問看護ステーション	
月額上限 3,000円	→ 3,200円
◆定額制を選択している訪問看護ステーション	
1日につき 600円	→ 640円
<small>※同一の月において、同一の訪問看護ステーションに対する基本利用料の支払は5回を限度</small>	

— 津軽テクニカ — 期間従業員募集!!

津軽テクニカは昭和59年2月創業、五所川原市の東芝メディア機器(株)子会社としてパソコン周辺機器(DVD-ROM)製品を主体に世界へ向け製造、出荷している工場です。

- 募集人員** 女子若干名
- 年 齢** 18歳~35歳まで
- 給 与** 時給700円(日額5,600円)
- 手 当** 通勤手当 当社規定による(送迎バスあり)
- 勤務時間** AM8:10~PM5:00(休憩60分含む)
- 仕事内容** パソコン周辺機器(DVD-ROM)組立・調整・検査・包装《未経験者可》
- 休 日** 土曜・日曜・祭日・夏季・年末年始
- 面接日**
 - 平成14年3月7日より
 - 毎週月曜日~金曜日
 - AM10:00~PM3:00まで
 - ※自筆の履歴書をご持参下さい。

申込み・お問い合わせ先

株式会社津軽テクニカ
総務担当 松橋 ☎62-3320



市浦村の人口と世帯数 平成14.2.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,188	1,192	414
桂川	61	61	22
太田	250	254	85
脇元	519	521	202
磯松	301	301	108
十三	779	776	258
計	3,098	3,105	1,089

五所川原県税事務所からのお知らせ
《愛車の住所変更忘れていませんか》

自動車税の納税通知書は、4月1日現在の自動車登録により作成されています。

引っ越しなどで住所が変わった場合は、陸運支局で住所「変更登録」の手続きが必要となります。3月中に住所変更登録ができない事情がある場合は、次のいずれかの方法等で県税事務所までお知らせください。

1. 各市町村住民課窓口にある住所変更届(ハガキ)を県税事務所に郵送する。
2. 県税ホームページ上の「自動車税住所変更届」から入力する。ホームページアドレス：<http://www.pref.aomori.jp/zeimu/>
3. 最寄りの県税事務所まで、電話で知らせる。

なお、変更登録の手続きについては、陸運支局において行ってください。
▶お問い合わせ先
東北運輸局青森陸運支局 ☎017-739-1503
五所川原県税事務所 納税課 ☎34-2111
内線210・211

東北電力からのお知らせ

★東北電力社員を装った「漏電調査の訪問」について

県南において、当社社員を装った不審な男性がお客さま宅に無断で侵入するという事例が発生しましたのでお知らせいたします。▶1月18日午前9時頃、田子町内にお住まいのお客さま宅に、グレーの作業服上下を着た30~35歳くらいの男が無断で上がりこみ、これに気づいたお客さまが問いただしたところ、「東北電力だが、漏電しているとのことなので調べにきた」と言って何もせずに帰ったというものです。このため、幸いお客さまへの被害は生じておりません。▶当社では、漏電などの調査については、お客さまからのご依頼にもとづき実施しており、当社作業員は社名入りの青色のユニフォームを着用するとともに、身分証明証を携帯しております。▶なお4年に1度、定期調査のため財東北電気保安協会が伺っておりますが、同協会の調査員は薄い緑色のユニフォームを着用しております。▶今後、他の公益事業者や警察当局とも連携をとるとともに、各市町村の広報紙へ注意喚起の記事掲載をご依頼するなど、被害の未然防止に努めていくこととしております。

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

発生	12月中	年累計	死者の状況	シートベルト	
	863件 (985)	9,450件 (9,191)		着用していれば助かったと思われる人	非着用死者
死者	7人 (9)	110人 (128)	飲酒運転による死者	15 (25)	56 (74)
傷者	1,088人 (1,193)	11,927人 (11,490)	高齢者の死者 ~65歳以上の人~	43 (55)	31 (43)
			自動車乗車中の死者		12 (17)

()内は前年。累計は1月から。

エイジレス・ライフ実践者・社会参加活動事例の募集について

いきいき高齢者募集中!

内閣府ではエイジレス・ライフ(年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る)を実践している高齢者、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループを広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生活の参考としてもらうために、これら活動事例の募集を行っています。平成13年度は、脇元もや焼陶芸クラブが社会参加活動に決定しています。

◆募集する活動事例

①エイジレス・ライフ実践者

下記のいずれかを実践している概ね65歳以上の方

- 過去に培った知識や経験を活かし、高齢期の生活で社会に還元し活躍している
- 中年から一念発起して、物事を成しとげた
- 壮年期において達成した地位や対面などにとらわれることなく、高齢期を新しい価値観で生き生きと生活している
- 自らの努力、習練等により、優れた体力・気力等を維持している
- 地域社会のなかで、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し、生き生きと生活している

②社会参加活動

積極的な活動を通じ、社会とのかかわりを持ち、生き生きと充実した生活を送っている概ね65歳以上の方が中心となって構成しているグループ等(10名以上)

【活動分野】趣味、教育・文化、福祉・保健、健康・スポーツ、生活環境改善、地域行事・自治会、生産・就業(起業を含む)、安全管理・その他

◆推薦方法 役場住民福祉課に3月29日(金)までに推薦する氏名又はグループ名、活動内容がわかるものを提出。

◆紹介事例の決定等 内閣府に都道府県・指定都市及び高齢者関連団体から推薦のあった事例について、選考委員会に意見を聴取し、内閣官房長官が決定します。決定した事例については、書状と記念の楯を授与します。

◆紹介方法 決定した事例については、国民に広報を行います。また、「心豊かな長寿社会を考える国民の集い」において事例の紹介を行います。

▶お問い合わせ先

役場住民福祉課民生係 ☎62-2111 内線71

所得税の確定申告は自分で書いてお早めに

★平成13年分の所得税の確定申告は、平成14年2月16日から始まっています。

申告書は自分で書いて、できるだけお早めに提出してください。また、出来上がった申告書は郵送でも提出できます。

出足良いスタートで、申告・納税スッキリ完了!

健康への道

No.151

食育のすすめ

★味がわかる能力

「味覚」は幼い頃に決まっています。家庭の味におふくろの味が、その子供の食生活の将来にわたり大きく影響するので

味覚を育てるには、色々な物を食べることから始まります。

★食べ物大切さを知る能力

最近では、朝ごはんを食べない子供が増えているというデータが出ています。加えて大人の病気であった生活習慣病が子供たちの世界まで広がり、「食生活の乱れ」による体や心のトラブルが問題視されるようになりました。

そこで今、子供たちが自分で自分の健康を守り、豊かですこやかな食生活を送る能力を育てよう（必要な食べ物を選択する能力や食文化、食事のマナーを学ぶ機会等）という「食育」がすすめられています。

★自分で料理できる能力

料理を作ること、子供たちの創造力や自信を育てます。そして、将来の自立にも欠かせないことです。

食育の効果

★食べものを選択できる能力

豊食である現代こそ、元気な体を作るために多くの食べ物から組み合わせられる能力が大切です。

★望ましい食生活習慣を實踐できる能力

団らんを持って囲む食卓は、子供たちの心を満たし、育てます。食育の楽しさ、安心する家庭の場、あいさつ等、子供時代にしみ込ませてあげることです。その能力を身につけます。

「食育」という新しい視点を

とおして、子供たちへ伝え、育ててみませんか。

食卓の準備から手伝わせる習慣が「子供の自立」を促します。



戸籍の窓

▼お誕生

- 佐藤 颯人 (相内) 勝幸
- 植野 未来 (太田) 幸司
- 工藤 秀一 (太田) 秀人
- 秋田 星良 (相内) 公也
- 相坂 青哉 (十三) 孝弘
- 相坂 美羽 (十三) 孝弘
- 八木田 光 (相内) 一雄

▼ご結婚

- 中野 健司 (板柳)
- 柏谷 志穂 (相内)
- 成田 一寛 (脇元)
- 塩原 麻子 (埼玉)
- 田中 和彦 (平内)
- 相坂 陽子 (十三)
- 鎌田 典和 (東京)
- 外崎 富士子 (脇元)
- 成田 泰平 (脇元)
- 大川 奈緒子 (平賀)
- 三和 寿彦 (脇元)
- 鳥田 実穂子 (茨城)

▼おくやみ

- 丸山 まつ (太田) 89歳
- 石岡 治 (脇元) 62歳
- 加納 フミエ (十三) 67歳
- 秋田 多喜郎 (相内) 68歳
- 山田 ミトリ (脇元) 79歳
- 唐川 佐一郎 (相内) 81歳
- 葛西 たよ (脇元) 92歳
- 相川 賢次郎 (十三) 93歳

あとがき

三月末までに、市浦村独自のホームページが開設されます。(現在校正作業中です) ホームページでは、村のイベント情報、十三湊遺跡情報、さらには、いつでも情報が更新できる優れたソフトも備えているので、最新情報を瞬時に提供することも可能になっています。

リンク (他のホームページとの連結) もトーサム、市浦小学校、近隣市町村などを予定しています。

完成しましたら、広報等でホームページアドレスをお知らせしますので、パソコンをお持ちの方は、ぜひ一度ご覧になってください。